

H24. 12. 27発行

平成24年度第3回地域協議会は11月15日(木)午前10時から現地視察を行った。

二ツ井地域の沢口浄水場・沢口配水場(二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業)、きみまち阪公園第一広場新設休憩所(仮称 きみまち阪公園休憩所等施設建設工事)、旧天神小学校の3カ所を視察した。

(1) 沢口浄水場・沢口配水場

(二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業)

(事業の概要説明)

計画給水人口4,010人、一日最大給水量1,540m³で最大取水量及び計画浄水量も同じである。

平成24年度発注工事は、沢口浄・配水場建設工事(配水池・浄水管理棟・場内配管)を沢口地内で実施。荷上場地区導水管及び配水管布設工事については、2工区のうち1工区は9月末で終了し、今年度発注した現場は、3月15日まではすべて終了する見込み。平成25年度については施設の稼働に向けた電気系および水処理系を主に工事する予定である。

(配水池の説明)

配水池の屋根については、従来のパイプと木製板を内側から組み立てて行く型枠支保工とは異なり、配水池内部を天井に配置する空気膜で密閉し、圧縮空気を入れ一定の気圧を保ちながら、その空気膜を型枠支保工として、鉄筋コンクリート製ドーム屋根を建設するエアードーム工法を採用した。

空気膜は、厚さ1.2mmで、強度は3cmの正方形の面積当たり400kgの重量に耐えることが出来、特殊なモルタルを使用して、空気膜の上を厚さ30~60mmで固めた後、鉄筋コンクリート打設を行う。

配水池内部を一定の気圧に保つエアークンロールシステムは、トラブルなどで停電となったときにも、30秒で非常用自家発電機が作動し、施工に支障とならない仕組みとなっている。

また、このエアードーム工法は、「環境に優しい」「ドーム内面の防蝕対策が不要」「安全



※配水池のドーム屋根から視察の様子

<説明後、配水池のドーム屋根から視察>

性の向上」「労働力の削減」「工期短縮」「狭い敷地での施工が容易」などの特徴があり、降雪期間が長いこの地域に適した工法である。

【主な 質疑(Q)と回答(A)】

Q) タンクに水を満タン状態にして水を最大使用した場合、時間的にどのくらいまで使用出来るのか。

A) 全世帯が加入(100%加入)し、最大に水を使用した場合は、浄水を追加しなくても13時間使用出来る。



建設中の沢口浄・配水場全景

(2) きみまち阪公園第一広場新設休憩所

(仮称) きみまち阪公園

休憩所等施設建設工事

やまびこ食堂が閉店して以来、きみまち阪に来た人が不便をきたしているため、軽食コーナー等を備えた休憩所を整備することとした。

建物は、木造平屋建て延べ床面積79.49㎡で、外壁には厚さ15mmの杉板、内部の客席天井にはもみ殻ボードを使用し、エアコンも設置する。工期は9月14日～12月21日まで、工事費は15,552千円。

来春、桜のころ供用開始の予定である。

【主な 質疑 (Q) と回答 (A)】

Q) 軽食コーナー等を備えた休憩所は通年開くのか。

A) 4月下旬～10月末の土日祝祭日と花見や紅葉などの期間中を考えているが、状況により対応していきたい。

Q) 運営方法は。

A) 公設民営を考えている。



※きみまち阪公園軽食コーナー等を備えた休憩所の視察の様子

(3) 旧天神小学校

二ツ井町観光協会から旧天神小学校を木工教室やカヌー教室など学習及び体験交流施設として活用するため譲渡してほしい旨、要望が出ている。

また、同協会は、この教室に来ていただいた方を、きみまち阪やまちなかへ誘導するような事業展開により地域振興や観光振興に繋げたいとの思いがあり、市としてもできる限り協力していきたいと考えている。



旧天神小学校正面全景

編集、発行

〒018-3192 能代市二ツ井町字上台 1-1

能代市二ツ井地域局総務企画課 Tel 73-2112